

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
	<p>国がこれから行おうとしているネットや通信の行政のあり方については私には難しいです。すなわち多くの一般の国民にとっては難しすぎてよくわからないと思います。</p> <p>何が難しいかという多分ですが、「規制と、国や民間の技術力について」の知識が無いからです。よって、私としては、どんな世の中になってほしいかと考えてみました。</p> <p>今回は、知識が無いごく一般の国民として日本に期待していることを、意見として提出させていただきました。このような意見でも、お伝えしたことの意を汲んでいただければ幸いです。</p>
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>近い将来には、容量の大きな通信インフラを利用するコンテンツが当たり前の時代になってしまうので、国民全員の為の基盤として必要なインフラ整備であるので、未整備エリアはゼロにするように整備の実行が望まれると思います。整備の方法としては、設備を設置する方法だけでなく少数の住人(利用者)の方を移動させる整備の仕方も有ると思います。</p> <p>例えば、在宅のブロードバンドサービスで「医療の診察や手術に関する高画質・リアルタイムの動画データ送受信」などは、過疎地に住む高齢者には将来的に必要なサービスになると予想されます。このサービスを、全国の全ての国民が利用できる為に必要な最低限の通信基盤としてブロードバンド「光の道」を早急に実現してほしい。</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p>ブロードバンドサービスは、固定電話、携帯電話、各種通信網(何でもあり)、住民基本台帳・年金記録、電力供給などとシステム上の整合を計りながら、非常に広い意味のサービスと考えてはどうでしょうか。</p> <p>基本のサービス網であるからして、安価／生きるに必要なコンテンツ／全員参加が求められる。</p> <p>その他に、使い易さ(かなりの高齢者でも使える)+これを使わざるを得ない環境作り。</p>

	<p>・・・30%を向上させる為に行政が苦勞しなくても、民間がブロードバンド用のサービスを開發して安価で売り出せば、利用率は黙っていても向上すると思う。よってその民間にとってメリットがあればよい。例⇒「民間が安く売り出せる資金援助や制度が必要」、「民間が開發できる資金援助が必要」、「民間が海外での事業活動に逃げないように／海外の事業者も日本に来るように事業活動を行いたくなるようなインセンティブが必要」など。</p> <p>・・・日本がブロードバンド生活の世界を作って継続し發展していくためには、NTT分割よりも海外企業も含めて統合(吸収合併)を真剣に考えるべきだと思います。分割全く反対の意見ですが、「NTT が強い部分をもっと強くする、弱い部分は弱くする」という考えが必要と考えます。国内での例;NTTとSBとか、KDDIとSBとJCOMとかがお互いの強い事業部門を合併させてはどうですか？</p>
その他	<p>今までの検討部会や、「光の道」整備の在り方検討作業チーム」などのメンバー表には、民間企業は入っていないのですか。総務省の電機通信の研究所とかも入っていないのですか。その他に、経済産業省の計画とも整合をとるべきでメンバーに入れるべきで、大専とコンサルの先生方ばかりで、現実的ではないような気がします。但し、先生方が他の組織の意見をよく知っていて議論に反映させているならば、それでよいと思いますが、現実には無理ではないかと私としては考えます。民間企業を 20 社くらい参加させると、いろんな意見が出ると思います。</p> <p>以上でございます。</p>